

「鐵と鋼」誌へ寄稿に関する注意事項

1. 原稿用紙は本會所定のものを使用する事。(用紙は御請求次第差上ます)
2. 論文及び報文は凡て簡單明瞭を旨とし本文に重要な關係なき前置及び挨拶の如きは成るべく省略する事。
3. 文體は文章的口語體とし假名は平假名を用ひ數字は算用數字を用ひる事。外國語は片假名にて記す事。外國固有名詞は原語字綴の儘にても差支へない。
4. 論文の冒頭には歐文にてその摘要を記載する事。
5. 論文報文は圖、表、寫眞ともに會誌 20 頁を超過せざる事。
6. 數表、線圖は成る可く少くする事。同一事項を數表、線圖兩方にて表すが如きは成る可く避け、何れか一方にする事。
7. 線圖、圖面は成る可く會誌一欄 (幅 70mm) 内に縮寫し得る様、線の太さに注意し白地に黒線にて明瞭に書く事。但し方眼紙を用ふる時は必ず淡青色のものに限る。(赤、黄、代緒等のは不可)

圖面、線圖、寫眞等の挿入場所は豫め原稿中に指定の事、但し誌上掲載方に就ては印刷の都合上當方に一任されたし。

8. 線圖、圖面の文字は本會に於て活字にて記入するに付原圖には鉛筆にて明瞭に記入の事。
9. 寫眞及び顯微鏡寫眞は成る可く少くする事。
10. 數學式は、 $\frac{x}{2}$, $\frac{x}{a+b}$, $\lfloor n \rfloor$ は $1/2 \cdot x$, $x/(a+b)$, nl の如くし、又 \sqrt{a} , $\sqrt{a+b}$ の如きは、 \sqrt{a} 又は $a^{1/2}$, $\sqrt{(a+b)}$ 又は $(a+b)^{1/2}$ の如くする事。
11. 小數點は數字の中央より上部に置き、1,000以上の數字には3桁毎にコンマ(,)にて切る事、例へば 1,367,893.54。

12. 名數は次の如く記し括弧内の様を書くを避ける事。13.56圓(十三圓五十五錢) 1934年5月20日(千九百三十四年五月二十日) 1~4.時間(一乃至四時間)

13. 單位は特別の場合の外は成る可くメートル系單位を用ひ又其の表はし方は次の如くする事。

キロメートル	km	立方メートル	m ³
メートル	m	トン(1,000kg)	t
センチメートル	cm	キログラム	kg
ミリメートル	mm	グラム	g
平方キロメートル	km ²	毎平方センチメートル・キログラム	kg/cm ²
リットル	l	毎平方ミリメートル キログラム	kg/mm ²
溫度(攝氏)	°C		

14. 以上各項により編輯委員は辭句の修整、短縮及び表、圖、寫眞等の取捨をなす事あるにつき豫め御了承を乞ふ。